

国際有機農業映画祭2008 開催趣意書
協賛・賛同のお願い

農と食をめぐる、世界が揺れ動いています。食料価格の高騰がまるで津波のような勢いで世界を覆い、すでに8億5000万人を数える飢餓・栄養不足人口をさらに1億人積み上げるだろうと言われています。

農業を世界的な市場競争に投げ込む自由貿易の広がりの中で、世界のそれぞれの地域で、それぞれの風土と経済的社会的条件に合わせて発展し、続けられてきた農民による農業が、化学肥料や農薬、さらには遺伝子組み換え種子などを駆使した、企業や企業化した農家による大規模な工業的農業に駆逐され、農民は地域から、農地から、水から引き剥がされています。いま世界を席卷している食料危機の背後に、こうした小規模農民による農の営みそのものが崩され排除されている事実があることを私たちは指摘しなければなりません。

現実がそうであればあるほど、もう一方で有機農業への評価と期待はますます高まっています。食料危機の只中の08年4月、国連のFAO（世界農業食糧機関）やユネスコ、それに各国政府やNGO、企業関係者を交えた国際機関「開発のための農業技術評価」（IAASTD）は、これまでの工業的農業の失敗を指摘、有機農業こそが21世紀の社会、経済、環境を守る生産方法であることを世界に宣言しました。

この地球上に生きる人々は、平和に、人としての尊厳を持って生きる権利を持っています。人だけでなく、あらゆる生き物は自らの生命を再生産する権利を持っています。平和的生存権ともいえるこの権利を具体化したものこそ、有機農業なのです。

私たちは07年11月、まさに徒手空拳で、皆様のご支援だけを頼りに第1回国際有機農業映画祭を開催しました。幸い多くの皆様にお越しいただき、成功を収めました。引き続いて今年も、農と食の営みを作り直し、あらゆる生き物が共に平和に生きられる世界になることを願い、「土からの平和」をテーマに、別紙のように11月16日、東京都内において映画祭を開催します。

つきましては、私たちの映画祭に取り組む趣意をご理解いただき、引き続き本年も協賛・賛同をいただきたく、お願いする次第です。協賛団体のお名前はプログラムおよび映画祭公式ホームページに、賛同いただいた方はプログラムにお名前を記載させていただきます。なお、協賛団体につきましては協賛金（1口1万円・1口以上）、個人賛同につきましては賛同金（1口1000円・1口以上）をお願いする次第です。

●郵便振替口座

口座番号 00240-7-133560

加入者名 国際有機農業映画祭実行委員会

2008年8月

国際有機農業映画祭実行委員会一同

代表 大野和興

事務局 NPO 法人日本有機農業研究会

TEL:03-3818-3078 FAX:046-276-1064

E-mail : info@yuki-eiga.com

URL : http://yuki-eiga.com